



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 東洋紡株式会社 上場取引所 東

コード番号 3101 U R L <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石丸 園子 T E L 06-6348-3044

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	307,515	△2.1	18,273	79.6	15,836	186.2	7,827	986.2
2025年3月期第3四半期	314,229	2.2	10,175	103.8	5,534	131.0	721	△54.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 14,216百万円 (151.5%) 2025年3月期第3四半期 5,652百万円 (72.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	88.72	—	—
2025年3月期第3四半期	8.18	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	616,810	240,948	33.0	2,307.43
2025年3月期	617,799	232,044	31.6	2,215.11

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 203,619百万円 2025年3月期 195,312百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
2026年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	430,000	1.9	24,000	44.1	19,500	84.1	8,500	324.3	96.36	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一 社（社名）、除外 一 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年3月期3Q	89,048,792株	2025年3月期	89,048,792株
2026年3月期3Q	803,839株	2025年3月期	876,140株
2026年3月期3Q	88,214,856株	2025年3月期3Q	88,142,736株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では、相互関税政策の影響が懸念されたものの、個人消費の下支えにより、景気は概ね堅調に推移しました。中国では、長引く不動産不況や消費の低迷により、内需が振るわず景気停滞が続きました。国内においては、所得環境の改善や設備投資の進展により、景気は緩やかな回復基調を維持しました。今後は、米国の相互関税政策の影響や中国経済の回復度合い、地政学的リスクが、当社の事業環境に影響を及ぼすことが懸念されます。

こうした事業環境のもと、液晶偏光子保護フィルム“コスマシャインSRF”、セラミックコンデンサ用離型フィルムは堅調に推移しました。加えて、包装用フィルム事業において、新設備の生産性の改善を進めた結果、収益が改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比67億円(2.1%)減の3,075億円となり、営業利益は同81億円(79.6%)増の183億円、経常利益は同103億円(186.2%)増の158億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同71億円(986.2%)増の78億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

#### (フィルム)

包装用フィルム事業では、食品価格高騰による買い控えが続き、荷動きが悪化したものの、新設備の生産性の改善を進めた結果、収益が改善しました。工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムは、引き続き販売が拡大しました。液晶偏光子保護フィルム“コスマシャインSRF”は強い需要に支えられ、堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比51億円(4.1%)増の1,300億円、営業利益は同90億円(235.6%)増の129億円となりました。

#### (ライフサイエンス)

バイオ事業では、診断薬用原料酵素の需要は堅調に推移しましたが、中国市況の悪化により診断薬用試薬の販売が低調となり、収益が悪化しました。メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の販売は堅調に推移ましたが、新工場の立上げ遅れの影響を受けました。医薬品製造受託事業では、製品価格の改定を進めたことにより、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比9億円(3.6%)減の248億円となり、営業損失は3億円(前年同期は営業利益15億円)となりました。

#### (環境・機能材)

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、海外向けの自動車用途の販売増が寄与し、収益が改善しました。工業用接着剤“バイロン”は、国内向け塗料・接着用途や東南アジア向け電子材料用途の販売が増えました。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、EV市場減速の影響により、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置の出荷が減少しました。不織布マテリアルは、国内生産体制の見直しが進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比56億円(6.8%)減の779億円、営業利益は同3億円(4.7%)減の54億円となりました。

(機能繊維・商事)

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、強い需要に加えて円安の影響もあり、販売を伸ばしました。スポーツ用途は、国内生産拠点の集約を進めました。エアバッグ用基布事業では、自動車生産は回復基調にあり、一層のコストダウンで、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比51億円 (7.1%) 減の662億円、営業利益は同5億円 (847.9%) 増の6億円となりました。

(不動産、その他)

不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等の各インフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比2億円 (2.6%) 減の86億円、営業利益は同2億円 (11.4%) 増の20億円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比10億円 (0.2%) 減の6,168億円となりました。これは主として棚卸資産が増加した一方で、受取手形及び売掛金や現金及び預金が減少したことによります。

負債は、前年度末比99億円 (2.6%) 減の3,759億円となりました。これは主として支払手形及び買掛金や借入金が減少したことによります。

純資産は、利益剰余金の増加や、為替換算調整勘定などの増加により前年度末比89億円 (3.8%) 増の2,409億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想については、最近の動向を踏まえ、2025年11月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しました。詳細は本日 (2026年2月9日) 公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	28,581	24,583
受取手形及び売掛金	92,545	79,706
契約資産	207	1,079
電子記録債権	13,400	14,398
商品及び製品	65,055	67,737
仕掛品	22,023	24,812
原材料及び貯蔵品	31,904	40,702
その他	14,109	10,227
貸倒引当金	△330	△459
流动資産合計	267,495	262,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,763	79,683
機械装置及び運搬具（純額）	63,720	66,036
土地	90,203	92,800
建設仮勘定	55,958	49,409
その他（純額）	12,875	13,381
有形固定資産合計	296,518	301,310
無形固定資産	5,032	4,771
投資その他の資産		
その他	48,821	48,014
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	48,754	47,945
固定資産合計	350,304	354,026
資産合計	617,799	616,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	48,389	42,723
電子記録債務	3,436	2,916
短期借入金	53,043	50,464
コマーシャル・ペーパー	5,000	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	11,684	9,391
引当金	5,306	3,082
その他	23,463	24,898
<b>流動負債合計</b>	<b>160,320</b>	<b>153,473</b>
<b>固定負債</b>		
社債	67,000	67,000
長期借入金	114,343	112,197
再評価に係る繰延税金負債	18,990	18,956
役員退職慰労引当金	209	191
退職給付に係る負債	14,122	13,316
その他	10,770	10,730
<b>固定負債合計</b>	<b>225,435</b>	<b>222,389</b>
<b>負債合計</b>	<b>385,755</b>	<b>375,863</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,661	32,640
利益剰余金	68,967	73,340
自己株式	△925	△845
<b>株主資本合計</b>	<b>152,433</b>	<b>156,865</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,857	2,216
繰延ヘッジ損益	12	△2
土地再評価差額金	40,174	40,101
為替換算調整勘定	△603	2,757
退職給付に係る調整累計額	1,439	1,682
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>42,879</b>	<b>46,754</b>
<b>非支配株主持分</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>36,732</b>	<b>37,328</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>232,044</b>	<b>240,948</b>
	<b>617,799</b>	<b>616,810</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	314,229	307,515
売上原価	243,158	230,942
売上総利益	71,072	76,573
販売費及び一般管理費	60,897	58,301
営業利益	10,175	18,273
営業外収益		
受取補償金	518	7
その他	1,648	2,283
営業外収益合計	2,166	2,290
営業外費用		
支払利息	1,531	2,121
その他	5,276	2,606
営業外費用合計	6,807	4,727
経常利益	5,534	15,836
特別利益		
関係会社株式売却益	1,489	—
投資有価証券売却益	79	—
特別利益合計	1,568	—
特別損失		
減損損失	950	249
固定資産処分損	1,823	1,380
固定資産売却損	126	—
事業構造改善費用	—	371
割増退職金	—	1,151
退職給付制度改定損	—	939
特別損失合計	2,899	4,091
税金等調整前四半期純利益	4,203	11,745
法人税等	738	2,227
四半期純利益	3,465	9,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,744	1,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	721	7,827

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,465	9,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	360
繰延ヘッジ損益	15	30
為替換算調整勘定	1,497	4,213
退職給付に係る調整額	187	243
持分法適用会社に対する持分相当額	142	△148
その他の包括利益合計	2,187	4,698
四半期包括利益	5,652	14,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,501	11,775
非支配株主に係る四半期包括利益	3,152	2,441

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	124,881	25,740	83,524	71,272	3,141	308,558	5,672	314,229	—	314,229
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,634	83	6,137	929	859	9,642	9,912	19,554	△19,554	—
計	126,516	25,822	89,660	72,201	4,001	318,200	15,584	333,783	△19,554	314,229
セグメント利益	3,836	1,489	5,618	61	1,369	12,374	417	12,791	△2,617	10,175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。

- セグメント利益の調整額△2,617百万円には、セグメント間取引消去190百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,806百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	130,029	24,807	77,881	66,215	3,372	302,304	5,211	307,515	—	307,515
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	718	139	5,908	1,099	810	8,674	8,706	17,380	△17,380	—
計	130,747	24,946	83,788	67,315	4,182	310,978	13,917	324,895	△17,380	307,515
セグメント利益 又は損失(△)	12,874	△284	5,352	582	1,529	20,053	461	20,514	△2,241	18,273

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,241百万円には、セグメント間取引消去137百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,378百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
- セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	16,965百万円	17,944百万円